

## IBM 4690オペレーティング・システム・バージョン3リリース2



### ハイライト

- 新たにデュアル・ディスプレイと14桁商品コードをサポート
- Java 2™ 仕様の最新のe-ビジネス・アプリケーション用環境を提供
- これまでの信頼性と投資保護の要求に加え新たな機能を実現

### これからのビジネスをサポート

IBM 4690オペレーティング・システム・バージョン3リリース2は、これまでどうり店舗での幅広いe-ビジネス戦略をサポート、単独店から大規模チェーン店まで、どんな規模の小売環境にも適応します。POS上でWebブラウザを稼働、従来のPOSソフトウェアに手を加えることなく最新のe-ビジネス環境を実現できるため、レジでの生産性を損なうことなく顧客サービスの向上が図れます。

### 内蔵Java機能

自社店舗の差別化やインターネットを使った新たな販売機会の創出のためにはネットワークやブラウザ、Javaなどの最新技術の利用が不可欠となります。このご要望にお応えするため、IBM 4690 OS V3 R2ではJavaアプリケーションが稼働するための実行環境を搭載いたしました。Java実行環境(JRE)によってネットワー

クとグラフィックス機能をさまざまなクライアントやサーバーで利用できます。Java 2サポートによりJava 2仕様で書かれた最新のPOSアプリケーションを活用できます。

### 最新テクノロジー対応

IBM 4690 OS V3 R2は、新しいテクノロジーを組み込むことで機能強化されています。

デュアル・ディスプレイ： 1台のPOSで2つのディスプレイをサポート。従来のオペレーター用ディスプレイに加えお客様向けに広告の表示やお知らせなど様々な情報を表示することができます。GTINへの対応： 2005年より開始される14桁商品コードをサポート。

### ソフトウェア投資の保護

既存のハードウェアとソフトウェアを、IBM SurePOS™ 4694やIBM SurePOS 700シリーズなどの新POSシステムと同様にサポートします。既存のハードウェアと新しいハードウェアを共存させ、同一のログにトランザクション・データを書き込むことができます。

POSから複数プログラムにアクセスできるようにすることで、IBM 4690 OS V3 R2は余分なワークステーションの数を減らせます。定評あるPOSアプリケーションにJavaベースのGUIを付け加えることで、使いやすくするとともに、教育時間も減らせます。

### TCOの削減

IBM 4690 OS V3 R2はシン・クライアント・コンピューティングをサポートし、信頼性を守りながら、ハードウェア経費を最小化します。シン・クライアント・モデルはハードディスクを用いないので、ハードウェアの必要条件を最小限にできるだけでなく、必要メモリも少なくできます。

店舗のクライアントはサーバーによって自動的にロードされ、保守されるので、サポート経費も低く抑えられます。さらに、IBM 4690 OS V3 R2にはTivoli® Point of Sale ManagerのIBM 4690 OSエージェントが添付されているので、集中システム管理への次の一歩を踏み出せます。

### 高信頼性のパフォーマンス

IBM 4690 OS V3 R2は、世界中で高く評価された信頼性を継承しています。タスク優先順位付けとマルチユーザー/マルチタスク機能が店舗の業務をすみやかにこなします。サーバーでのディスク書き込みは不揮発性メモリによって保護されています。そして複数サーバーが互いをバックアップできるので、サーバーが故障してもチェックアウトは中断されません。実際には、もしサーバー接続が切れても、ターミナル・オフライン・モードでJavaと従来のPOSアプリケーションは動作を続けます。貴社のPOSアプリケーションは、顧客満足を得るために必要な高いレベルの可用性を持った、高信頼性環境で動作を続けます。



## IBM 4690オペレーティング・システム・バージョン3リリース2概要

### バージョン3リリース2の強化点

- ・ オプションのデュアル・ディスプレイをサポートすることで、チェックアウト中にお客様の興味をひく機会を増やします。対話型のオペレーター・ディスプレイを追加して、そこから入出力を行えます。このディスプレイはタッチスクリーンのものでタッチスクリーンでないものが選択可能です。オプションのカスタマー・ディスプレイは出力専用で、Javaアプリケーションしか利用できません。
- ・ UCCガイドラインにしたがって、RSSを含む14桁の商品コードをサポートしているので、新しいバージョン標準にすばやく対応できます。
- ・ 1.4 Java仮想マシン、Java 2 SDK、JITコンパイラを含むJava 2をサポート。これによってIBMビジネス・パートナーは新たなJavaアプリケーションを開発して、小売店のPOSソフトウェアの選択肢を増やすことができます。
- ・ コントローラーで最大1 GBのRAMをサポートすることで、アプリケーションのパフォーマンスを改善し、複数アプリケーションを同時実行するときの利用可能メモリを増やしました。
- ・ 拡張PXEブートストラップによって、PXE機能の全般的な一貫性を改善し、より大きなOSイメージをサポートします。
- ・ BIOSフラッシュ・メッセージが初期プログラム・ロード時にオペレーターに情報を知らせます。
- ・ コントローラーのバックアップ用に1.3 GB光ドライブ・メディアをサポートします。

4690 OS V3 R2がサポートするターミナル <sup>2</sup>	デュアル・ディスプレイ・サポート	JREサポート	必要メモリ <sup>3</sup>
IBM SurePOS 700シリーズ <sup>4</sup> モデル750, 752, 753	あり	あり	64 – 256 MB
IBM SurePOS 700シリーズ <sup>5</sup> モデル730, 732, 733	あり	あり	32 – 256 MB
IBM SurePOS 4694 POSシステム モデル307, 347	あり	あり	64 – 256 MB
IBM SurePOS 4694 POSシステム モデル244 <sup>6</sup> , 205, 245, 206, 246, 207, 247	あり	あり	32 – 256 MB
IBM SurePOS 4694 POSシステム モデル104, 144, 154 <sup>7</sup> , 106, 146	–	–	–
IBM SurePOS 4694 POSシステム モデル004, 044	–	–	–
IBM SurePOS 4693 POSシステム	–	–	–
IBM SurePOS 4683 POSシステム	–	–	–

<sup>2</sup> IBM 4690 OS V3 R2は図のターミナルすべてをサポートしています。どのターミナルでも既存の4690アプリケーションは実行できます。JAVAアプリケーションを実行できるのはIBM SurePOS 700シリーズとIBM SurePOS 4694 POSシステムの一部モデルのみであることにご注意ください。

<sup>3</sup> ターミナルおよびコントローラーのプロセッサと必要メモリは利用するJavaアプリケーションによって異なります。

<sup>4</sup> コントローラーとして、またはコントローラー兼ターミナルとして構成する場合にはSurePOS 75XではPCINVRAMカードが必要です。

<sup>5</sup> SurePOS 73Xはターミナルとしてのみサポートされます。

<sup>6</sup> SurePOS 4694-2X4はデュアル・ディスプレイ機能をサポートしません。

<sup>7</sup> SurePOS 4694-154は日本専用のターミナルです。



## お問い合わせ先

店舗内e-ビジネスのしっかりした基盤を構築するために、IBM 4690 OS V3が貴社をお手伝いできる方法の詳細については、IBM担当にご連絡いただくか、Webサイトibm.com/jp/store (日本)または、[ibm.com/industries/retail/store](http://ibm.com/industries/retail/store) (米国) へどうぞ。

注文については1 800 IBM-CALL (1 800 426-2255)または、アメリカ合衆国およびカナダ以外からは1 770 863-1000へお電話ください。

© Copyright IBM Corporation 2003.  
All Rights Reserved.

IBM Corporation  
Department C6PA  
5601 Six Forks Road  
Raleigh, NC 27609

Printed in the United States of America  
01-03

本文書で紹介されたIBM製品またはサービスは、IBMが営業を行っている全ての国でサポートしていません。サポートの詳細は各国のIBMにお問い合わせください。本文書内のイメージの複写やダウンロードはIBMの書面による同意がない場合は禁止されています。IBMはこの文書で紹介した情報の使い方に対して、

どのような責務も負わないことをお断りさせていただきます。この文書に書かれている情報はIBMまたはサードパーティの知的所有権による明示的または黙示的なライセンスもしくは損害賠償として使用することはできません。この文書は、特定用途への適合性や市場可能性の黙示的保証をはじめ、いかなる保証も含まれていないことをお断りさせていただきます。IBMは写真上の誤りや誤字には、どのような責務も負わないことをお断りさせていただきます。

IBMは新技術の登場にともない、製品とサービスの向上につとめてまいります。このため、IBMは事前の予告なしに仕様や製品情報を変更することがあります。個別の標準構成やオプションについてはIBMソリューション・プロバイダーにお問い合わせください。

® e (logo), IBM, IBMロゴ, SureOne, SurePoint, SurePOS, TivoliはInternational Business Machines Corporationのアメリカ合衆国その他の国における商標または登録商標です。

™ JavaとすべてのJavaベースの商標およびロゴはSun Microsystems, Inc. のアメリカ合衆国その他の国における商標です。

その他の会社名製品名、サービス名は各社の商標またはサービス・マークです。

1 インターネットでのIBMのホームページは [ibm.com](http://ibm.com) です。

♻️ 10パーセントの再生繊維を含む再生紙に印刷しています。

表紙はIBM SurePOS 700システムでのICESoftブラウザです。

ページ2は、IBM SurePoint ™ソリューションに取り付けたSureVisionオペレーター・ディスプレイとIBM SurePOS ACE for 4690 OSカスタマー・ディスプレイです。